



くにやす

ちひろ

國安 千尋 氏（54歳）赤磐市で就農

～目指す農業経営～

（もも一筋を目標に、小さな事から頑張ります）

- 就農時期：令和4年4月
就農3年目
- 就農の型：夫の実家を継承

- 品目：もも、ぶどう等
- 経営面積：もも100aぶどう10a
- 経営参画者：本人、夫

○就農経緯

- ・義父が約20年前に他界、高齢でももの木の手入れが出来なくなった義母とともに、放置されたももの木がかわいそうになり、就農（継承）を決意。

○事前準備

- ・就農前は、ももの袋かけ作業の手伝い程度であったため、技術習得のための研修を受講。
- ・園地を継承し、新たに機械を購入。

○研修内容

- もも：2年
- ぶどう：1年（継続中）
- 三徳園：社会人研修（座学・1年）
同時に実務研修（基礎技術：週1回を2年）

新規就農から1～2年で苦勞されたこと

○農地・住宅確保

- ・農地は、義母から継承。
- ・住宅は、別地区で所有。

○資金確保

- ・自己資金は、約100万円。
- ・融資は無し。

○技術習得

- ・三徳園で基礎的技術を習得。
- ・併せて、岡山東モモ部会で人工授粉や剪定作業等の技術を習得。
- ・更に、近隣農家から栽培技術などを習得。

○販路確保

- ・JA出荷、地元の産直市場に出荷。またスイーツ店に桃を出荷。

○地域との関わり方

- ・鳥獣被害対策の取組として、地域で取組む人と一緒に防護柵や電気柵の設置等を実施。
- ・地域と関わる方を対象に、農業作業体験なども実施。
- ・桃の研修やインスタ等で知り合った女性農業者と交流。

定着までの取り組み

○技術向上

- ・自ら先輩生産者を訪問し、技術を習得。
- ・収量確保のために栽培技術（剪定、摘蕾等）を向上。

○農業経営（コスト削減）

- ・乗用薬剤散布機（SS）、授粉機（動噴）、組紐などを用い、効率化に取り組中。

○機械・施設整備

- ・今後の規模拡大に備え、機械・施設を整備中。
（乗用草刈機、乗用薬剤散布機（SS）など）

○販路拡大

現状維持が基本（近隣の出荷できる範囲内で販売を実施）。

就農を目指す人へ

- ・就農まで色々な心配や不安があるが、助けてくれる人は必ずいる。
まず就農への一歩を踏み出してほしい。そのためにも就農研修は必須。



「桃のほ場」



「桃の手入れ作業中」



「地域の方と農業体験を実施」



「桃 2 種類」